

「「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂に伴う既設試験研究用原子炉施設の耐震安全性の評価の実施計画書等について」の変更について

平成 21 年 5 月 7 日  
文 部 科 学 省

当省より平成20年2月28日付けで報告した『「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂に伴う既設試験研究用原子炉施設の耐震安全性の評価の実施計画書等について』のうち、独立行政法人日本原子力研究開発機構の実施計画書の実施工程（予定）に別添の通り変更が生じたので報告します。

#### 1. 実施工程（予定）の変更理由

独立行政法人日本原子力研究開発機構では、「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」を踏まえた地質・地盤調査を実施してきたが、平成19年新潟県中越沖地震を踏まえ、海域の地質調査として、更なるデータ拡充の観点から、海上音波探査を実施した。さらに、調査結果の解析・評価により、陸域の追加調査を実施し、解析・評価を進めているところであるが、陸域の追加調査が生じたこと及び解析・評価結果を踏まえての基準地震動策定に時間を要することから、実施計画書の実施工程（予定）の見直しを行ったものである。

#### 2. 今後の予定

変更された耐震安全性評価実施計画書に従って実施される耐震安全性評価の結果についてその妥当性の確認を行い、原子力安全委員会に報告する予定。

実施工程（予定）

【変更前】

	工 程
地質・地盤調査	<u>H18年7月</u> <u>H20年5月</u> KUR
	<u>H18年9月</u> <u>H20年10月</u> JRR-3、JRR-4、STACY、TRACY
	<u>H19年4月</u> <u>H21年3月</u> 常陽、HTTR
	<u>H19年7月</u> <u>H21年3月</u> JMTR
耐震安全性評価	<u>H19年4月</u> <u>H21年9月</u> JRR-3、STACY、TRACY
	<u>H19年7月</u> <u>H21年9月</u> JRR-4、KUR
	<u>H19年4月</u> <u>H22年3月</u> 常陽、HTTR
	<u>H19年7月</u> <u>H22年3月</u> JMTR

【変更後】

	工 程
地質・地盤調査	<u>H18年7月</u> <u>H20年5月</u> KUR
	<u>H18年9月</u> <u>H21年3月</u> JRR-3、JRR-4、STACY、TRACY
	<u>H19年4月</u> <u>H21年3月</u> 常陽、HTTR
	<u>H19年7月</u> <u>H21年3月</u> JMTR
耐震安全性評価	<u>H19年7月</u> <u>H21年9月</u> KUR
	<u>H19年4月</u> <u>H22年12月</u> JRR-3、STACY、 TRACY
	<u>H19年7月</u> <u>H22年12月</u> JRR-4
	<u>H19年4月</u> <u>H23年3月</u> 常陽、HTTR
	<u>H19年7月</u> <u>H23年3月</u> JMTR

## <参 考>

- ・平成18年9月19日付けで原子力安全委員会が「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」を決定。
- ・平成18年12月21日付けで試験研究用原子炉施設の耐震重要度分類の考え方等を示して、既設試験研究用原子炉施設の耐震安全性の評価を原子炉設置者に指示。(平成18年12月21日報告済み)
- ・平成19年3月28日、独立行政法人日本原子力研究開発機構が既に耐震重要度分類がなされている原子炉施設について耐震安全性評価実施計画書を提出。(平成19年3月29日報告済み)
- ・平成19年7月4日までに、すべての原子炉設置者が耐震安全性評価実施計画書及び検討書を提出。なお、独立行政法人日本原子力研究開発機構は、既に耐震重要度分類がなされている原子炉施設について耐震バックチェック対象となる設備・機器等の選定結果を提出。(平成19年7月5日報告済み)
- ・各原子炉設置者から提出のあった耐震安全性評価実施計画書及び検討書について報告。(平成20年2月28日報告済み)